

- ◆企画名 ボード企画「教えて！関大生！」
 日程 2024年4月10日（水）～5月2日（木）
 場所 千里山キャンパス 凜風館1階ピアエリア前（ボランティアセンター側）
 参加者数 6名（ピア・サポーター1名、研修生4名シニア・サポーター1名）、
 付箋合計41枚

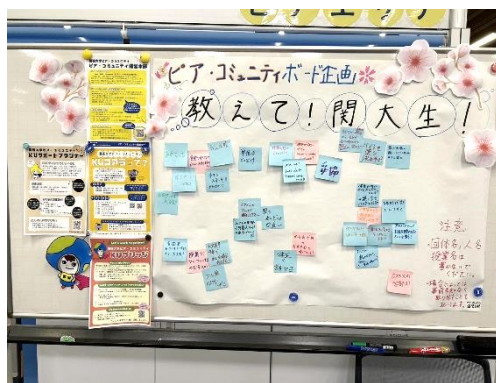
目的

新入生向けに、入学後の大学生活のイメージを参加型の企画によって固めていき、加えて在學生にも参加してもらうことで、上位年次生とのかかわりのきっかけとすること。また、何度も見に来たくなる企画にするとともに、ピア・コミュニティ主催の企画であることやメンバーの記載を強調することで、ピア・コミュニティの広報にも繋げることを目的とする。

内容

○企画について

- ・『教えて！関大生！』というテーマに沿って付箋に質問・回答を記入してもらい、ホワイトボードに貼り付けた。このホワイトボードは期間中設置し続けた。
- ・基本的に、新入生は質問、在學生はその質問に対する回答を記入し、質問の付箋の周りに貼り付けた。
- ・新入生と在學生の付箋の色を分けることで、互いに書いた内容を確認しやすくした。
- ・ホワイトボード周辺に本企画の主催であるピア・コミュニティについての説明や紹介を載せた。



○管理

- ・定期的に運営本部のメンバーがホワイトボードの確認を行い、不適切な記載やペン等の備品の状態などを確認した。
- ・ホワイトボードには他者を攻撃するような内容や不適切な表現（団体名、人名、授業名など具体的な表現）をしないように注意書きをした。また、このような記載があった場合は、その該当の付箋内容を運営本部メンバーに報告の上、撤去した。緊急性の高い内容があった場合は運営本部内で事前に決めていた担当者がメンバーに報告前に撤去するようにした。その結果、5枚の付箋を不適切な内容と判断し、期間中に撤去した。

○広報

- ・定期的にホワイトボードの様子を Instagram や Twitter にて投稿する予定だった。
 →運営本部の Instagram、ピア・コミュニティの Twitter では投稿できず、ピア・コミュニティ全体の Instagram (@peer_kans) のみ投稿した。

効果

- ・41枚の付箋が貼られており、多くの学生に参加してもらえた。（うち5枚撤去）
- ・ピアエリアに立ち寄る人が増えた。
- ・新入生の大学生活に対する不安の解消に繋がった。
- ・個別相談の際に紹介できる活動として、紹介する材料になった。
- ・企画立案から実行、報告書作成までを新メンバーと協力して行なったことで、新メンバーのモチベーションの向上に繋がった。
 →運営本部への帰属意識の向上から継続して活動できるようにしていくファーストステップになった。

改善点

- ・撤去基準が曖昧だった。
→事前に撤去対象の具体例を設定しておく（人名が入っていたら必ず撤去する等）。メンバー間での共有回数を増やし、その都度撤去基準を明確にしていく。
- ・貼り替えのタイミングを決めていなかった。
→定期的に状況を確認し、新しく付箋を貼るスペースがなくなったら、早くに貼られていた質問から順次撤去し、新しい付箋が貼れるように整理する。
- ・必要物の把握、備品管理を怠っていた。
→事前にどの備品を何個使用するか確認しておき、リストを作成し、チェックする。また、今回のボード企画で必要になったものを記録し、次回に繋げる。
- ・ピア・コミュニティの表記はあったものの、運営本部の表記が小さくわかりにくかった。
→運営本部の文字を大きく掲示する。
- ・企画の周知不足だった。
→SNSを絡めた運用をして行く。
例えば「食堂のおすすめメニューは？」で集まった内容をSNSで広報する。
- ・SNSに投稿する予定であったが、誰がどの頻度で投稿するかなどの担当決めを怠っていたために、投稿するタイミングを見失ってしまった。
→企画段階で担当を分け、どのような広報を行っていくかを詳細に決めていく。

感想

運営本部単独では今年度最初の企画であり、新メンバーが本格的に参加する最初の企画でもあった。設置型の企画は、運営本部としては前例がないために手探りでの準備となったが、結果として多くの付箋が貼られており、多くの参加者がいたことがわかりとても良かった。

ただ、管理体制等が設置時には決まっておらず、準備段階での不備も多く見受けられたので、秋学期以降に実施する際に改善できるよう努めたい。